

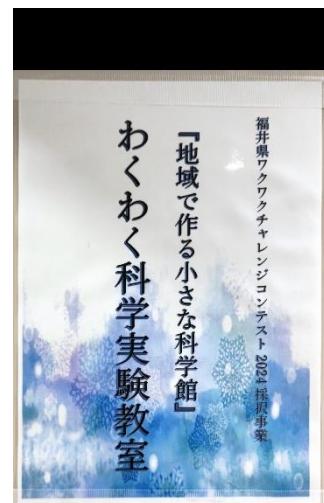
<ワクチャ事業第3回：福井市東郷公民館、「わくわく科学実験」：令和7年1月26日、

10:00～12:10に実施>

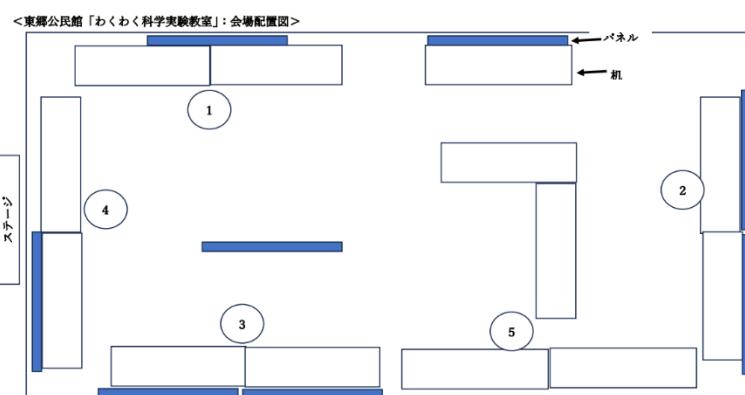
昨日、本ワクチャ事業第3回を東郷公民館にて行いました。インフルエンザで欠席の児童もありましたが、児童13名、大人10名が参加しました。同じフロアで、5種類の実験を同時に行うのは、我々NPOとしても初めての経験でしたが、NPOふくい科学学園から6名、公民館側からスタッフや運営委員の方など6名が出ていただき、各コーナーに2名の指導者を配置することができました。参加者を5グループに分け、25分ごとに、異なる実験を体験してもらいました。アンケートを見ますと大部分の参加者が“とても楽しかった”と回答しており、今回の事業は大成功であったと評価させていただきました。以下、実験の様子を写真でお示しします。



前日の午後に行った実験検討会議



会場の入り口に貼った本事業の看板



- ① 空気砲の実験
- ② シャボン玉の実験
- ③ 雪の結晶の保存と顕微鏡観察
- ④ 光の実験
- ⑤ 音の実験



①：空気砲の実験コーナー



②：シャボン玉の実験コーナー



④ : 雪の結晶観察コーナー



③ : 光の実験コーナー



⑤ : 音の実験コーナー



1月26日、開始前の
集合で注意事項伝達



空気砲を打ち出す児童



空気砲の断面構造を見る児童



シャボン玉の膜の性質を調べる



大きなシャボンの中に小さなシャボンを入れる



雪の結晶を保存する方法を学ぶ



雪のレプリカを使って顕微鏡観察



煙箱の中にレーザー光線を入れる



LEDで作った光の模様を大型ピンホールカメラで観察



音叉を使って音の実験



紙のパイプでモシモシ電話